

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

スポーツ振興くじ (toto) 助成金についてはこちらから
(日本スポーツ振興センター HP) <http://www.jpnsport.go.jp/>

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

現在の登録件数：4,697件



スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

➤ 〈特集〉女性の運営委員やリーダーが活躍しているクラブ

- ▶ [鶴岡市民健康スポーツクラブ \(山形県鶴岡市\) ～笑顔の健康ウエーブ～](#)
- ▶ [サン・スマイルいわで \(和歌山県岩出市\) ～女性リーダーが中心となり女性スタッフが活躍するクラブ～](#)
- ▶ [一ノ谷スポーツクラブ \(香川県観音寺市\) ～ローカルコミュニティで生む女性スタッフの活躍～](#)

➤ 〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

[半九レインボースポーツクラブの取り組み \(宮崎県宮崎市\)](#)

➤ 〈連載〉わがクラブの人気プログラム

[幼児・小学生体育教室 \(元気・夢クラブ\)](#)

➤ 助成金情報

[申込締切：7月31日まで](#)

➤ お知らせ

- ▶ [総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」募集中!!](#)
- ▶ [第10回全国スポーツクラブ会議の開催を公募します!](#)
- ▶ [労力半分、効果は2倍! 「クラブのらくらく広報」をご活用ください!](#)
- ▶ [笹川スポーツ財団シンポジウム「日本のスポーツガバナンスを考える」を開催します!](#)
- ▶ [「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」について](#)
- ▶ [あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご協力をお願いします!](#)
- ▶ [2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします!](#)

*
* あくしゅ、あいさつ、ありがとう *
* 「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン *
* <http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/> *
*

女性の運営委員やリーダーが活躍しているクラブ

鶴岡市民健康スポーツクラブ ～笑顔の健康ウエーブ～



キーポイント

- クラブ事務局スタッフが全員女性(7名)、クラブ内指導者が38名女性(全88名)
- 女性スタッフのソフトで繊細な心配りとスマイルが、クラブ内の絆を支える

1 クラブの概要

「鶴岡市民健康スポーツクラブ(以下、クラブ)」(山形県鶴岡市)は平成7年に鶴岡市が文部省(当時)より総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業を3年間受けたことを契機に、平成8年にクラブが誕生しました。その後、平成10年に行政主導から住民主導のクラブ運営をめざし、平成12年にはクラブ事務局を市スポーツ課事務室内に設置し、自主運営の体制を整えました。

クラブの理念は、幼児から高齢者まですべての市民が健康で明るく豊かな人生を築くために、“いつでも”“いつまでも”楽しく・安心してスポーツ活動ができる環境支援と活力ある心豊かな街づくりの推進に寄与することです。

活動プログラムは、子どもから高齢者まで誰もが参加しやすい26プログラムと短期教室6講座、それに季節の交流イベントと多様です。また、ジュニア選手育成コースにおいては子どもたちの将来の可能性を大切にしながら、トップアスリート養成にも力を入れています。

クラブスタッフは、事務局員7名の全てが女性(クラブマネジャー・事務局スタッフ・アシスタント)で、全指導者88名中38名を女性が占めています。

2 女性が活躍している要因

平成10年にクラブが住民主導での運営を目指す際、事務局スタッフが不足していたためボランティアスタッフを募集しました。そこでターゲットとしたのが女性でした。クラブでは、午前中や午後(13時～15時)の時間帯で教室を運営していたことから、その時間帯に、育児や家事などの合間をぬって活動いただける女性の力は欠かせませんでした。女性スタッフには、受付業務、準備後片付け、経理や指導者への連絡など事務手続きをお願いしています。

活動プログラム設定に関しては市民のニーズ調査を参考にし、運動機会の少ない人、スポーツ初心者、運動が必要な人(生活習慣病予防等)、スポーツ少年団や部活動に加入できない子どもたちに対応して、スポーツの楽しさ・仲間づくり・健康づくりなど多様な面を念頭において検討を重ねています。

活動施設は、市行政から市体育施設使用について全面的な支援を受けています。指導者は、各競技団体・スポーツ推進委員(旧体育指導委員)他から「総合型地域スポーツクラブ」の趣旨などについて理解を得て、プログラムに対応した人員を確保しています。

クラブマネジャーの鎌田さん(女性)は設立当初を振り返り、「初心者や運動の苦手な市民を対象にして毎日が苦労の連続でしたが、会員の爽やかな汗・元気な笑顔を見ると、それがクラブづくりのエネルギーになりました」と語っています。

また、女性スタッフは、常に主役は会員であることを忘れずに笑顔で接し、会員の声を引き出し、良い話し相手になることを心がけて、連携してクラブ運営に当たっています。このような女性スタッフのソフトで繊細な心配りとスマイルが、クラブ内交流の絆をしっかりと支えています。



3 今後の展望

クラブマネジャーの鎌田さんは、「子育て支援や健康寿命の伸展を目指した介護予防のプログラムなどを加えて、他クラブや地域・行政と楽しくコラボしながら多様なクラブ活動を展開することで、子どもから高齢者までの“こころ”と“からだ”の健康づくりに貢献していきたい」と語っています。

(山形県クラブアドバイザー 海老名清二)



クラブプロフィール

設立年月日：平成8年4月17日

地域：山形県鶴岡市全地域

運営：会員数 714名(平成24年度) 予算規模 約1,700万円(平成25年度)

特徴：行政主導で設立し、その後、行政と緊密な連携を保ちながら全市民を対象に自主運営を行っている

連絡先：鶴岡市小真木原2-1 小真木原総合体育館内

TEL：0235-25-8131 FAX：0235-25-8134

E-mail：info@tsksc.com

クラブHP：<http://www.tsksc.com>

[INDEXへ▲](#)

女性の運営委員やリーダーが活躍しているクラブ

サン・スマイルいわで ～ 女性リーダーが中心となり女性スタッフが活躍するクラブ～



キーポイント

- 女性スタッフ12名(全クラブスタッフ数14名)
- 女性リーダーを起用し、女性スタッフが活動しやすい体制の整備
- 女性特有のきめ細やかな心配りや、主婦目線のアイデアを生かす

1 クラブの概要

「サン・スマイルいわで(以下、クラブ)」(和歌山県岩出市)では、女性事業リーダーが運営に関わることで、事務局体制が整ってクラブが動き始めました。現在の新体制では、会長・副会長を中心に女性事業リーダー・女性スタッフ12名が加わり計14名で運営しています。

クラブがある岩出市は平成18年に市制となりましたが、地域の連帯感の希薄化、軽犯罪の多発などの問題がありました。その状況を少しでも改善できるようにと平成23年9月に「いつでも、どこでも、いつまでもスポーツや文化活動を通じ子どもたちの健全育成と住民の健康、助け合い支え合う地域づくり」をめざしクラブが設立されました。

2 女性スタッフを取り入れるキッカケ

クラブ設立当初、女性と子どもをターゲットにした教室会員を新聞折込みで募ったところ、予想以上の応募がありました。教室の会場及び指導者の確保などの業務が発生したため、急いでチラシを作り協力スタッフの募集をしました。その結果、男女1名ずつの応募者とクラブの母体であったレスリング教室の保護者にも協力をお願いし、クラブ活動はスタートしました。

その際、女性特有のきめ細やかな心配り、合理的な発想と無駄のない動きをみて、この活動には女性スタッフが必須だとクラブでは痛感したそうです。



3 女性リーダーの発掘、女性スタッフの増加のために

教室が始まると様々な運営上の諸問題が生じたため、クラブでは問題に対処できるリーダーが必要となりました。そこで、クラブ会長の交友関係の中から教室運営経験のある女性にお願いしました。リーダーとなった女性は、まず現状把握のため事前に運営委員会などの諸活動に参加しました。

その後、クラブ内にいる多くの女性スタッフが活動しやすくなるようクラブのルール作りを行っていきました。例えば会議運営においては、「報告・連絡・相談の徹底」や家事などで忙しい女性に考慮し「会議は短時間を厳守する」

といったルールを設定しました。

女性リーダーは「円滑な運営をするには、スタッフ全員がクラブの理念(クラブが何を目指しているのか)を共有し、その中で自分の役割は何かを明確にすることが大事」と話し、組織図と体制図を示してスタッフ全員の役割の確認、経理上の透明性のあり方などの意思統一を図りました。当初は「これまでのやり方とは違う」との反発も出ましたが、何とか理解を得て、新しい体制ができました。

4 女性ならではの視点を活かす事業

女性事業リーダーはクラブと地域の相互メリットを追求しながら、地域の活性化に寄与できることを常に考えています。その例の一つが、民間スポーツ店の空きスペースを活用したスポーツ教室事業です。

今年(平成25年)の春から、地域の大型商業施設内のスポーツ店の協力で、空きスペースを利用してキッズダンス・ヨガ・フラダンス・太極拳・エアロビクスなどの教室を開いています。その際、空きスペースを活用させてもらう代わりに、教室参加者に買い物割引チケットの配布や店の広報協力を実施しています。買い物割引チケットの配布などは主婦に好評で、スポーツ店側にも大きな効果があるそうです。これも女性目線を取り入れた事業展開ができている成果でしょう。

クラブがこういった事業を実施できている要因は、設立前後のより早い段階で事業経験のある女性リーダーを起用し、女性を中心としたクラブの体制を整えたことではないでしょうか。

今の課題は、いかに男性会員を増やしていくか。クラブの奔走はつづきます。

(和歌山県クラブアドバイザー 中村淳子)

クラブプロフィール

設立年月日：平成23年9月30日

地 域：和歌山県岩出市

運 営：会員数 460名(平成25年6月現在) 予算規模 約2,000万円(平成25年度)

特 徴：16種目32教室を開催している。色々な世代が参加しやすいスタジオ系中心のプログラムが多い。スタッフ全員が活躍できる運営を心がけている

連 絡 先：〒649-6248 和歌山県岩出市中黒32-1

TEL：0736-60-4312

E-mail：sun_smile_iwade@zeus.eonet.ne.jp

クラブHP：<http://sunsmileiwade.web.fc2.com/index.html>

女性の運営委員やリーダーが活躍しているクラブ

一ノ谷スポーツクラブ ～ローカルコミュニティで生む女性スタッフの活躍～



キーポイント

- クラブの積極的な声掛けにより、地域に眠っていた女性を発掘
- 他団体の事務局も兼ねる女性スタッフが橋渡し役となり事業展開
- 女性ならではの心配りや気遣いが各事業で生かされる

1 クラブの概要

「一ノ谷スポーツクラブ(以下、クラブ)」(香川県観音寺市)は、平成9年に地区体育協会関係者などを中心に設立された、香川県で一番老舗の総合型クラブです。地域の仲間づくり・健康づくりを目的として、子ども、働き盛りの大人、高齢者という3世代間の交流を積極的に図っています。

クラブは地区の自治会も設立母体となっているため、自治会加入世帯は自動的にクラブの会員となります。事務局は自治会活動の核である地区コミュニティセンター内にあり、そこでは地区社会福祉協議会や老人会、自治会といった多数の地域団体が様々な活動をしています。

2 地域には「眠り姫」が多数存在する!

地域には、子育て経験の豊富な女性、チラシづくりの上手な女性、しゃべり上手で情報を引き出す能力に長けている女性など、多彩な女性がいたるところに存在します。一ノ谷地区にも、バイタリティ溢れる女性が眠っていました。それが、現在クラブの事務局員をされているIさんです。

Iさんは元々観音寺市外から嫁いできた方で、地域行事の参加には奥手でした。しかしクラブ関係者から「人が足りないから、地区の親睦バドミントン大会に出ないか?」と声をかけられ、その大会に参加したことをキッカケに行事にも顔を出すようになり、やがてクラブの事務局員となりました。

Iさんはクラブ専門の事務局員ではなく、地区コミュニティセンターで活動する地区社会福祉協議会や老人会、自治会などの多数の地域団体の事務局も担っています。Iさんがクラブと地域の他団体との橋渡し役となることで、新しいアイデアも生まれています。

平成24年度は、県の委託事業を受託し、他の地域団体と連携しながら「谷っ子と協働・地域防災プロジェクト」に取り組みました。この事業では「地区体育祭」で防災訓練リレーを、一ノ谷小学校の生徒を対象に「防災キャンプ」を実施し、防災キャンプでは1泊2日で炊き出しや防災頭巾づくり体験などを行いました。

そのほかに、現在一ノ谷地区のスポーツ推進委員全員が、クラブの運営委員や会計担当など運営における重要な役職についています。スポーツ推進委員においても、元気な女性が活躍しています。



3 女性スタッフが多いメリット ～細やかな心配り

女性スタッフが活躍するメリットは、女性ならではの細やかな心配りが事業に反映できることです。クラブでは最近、「グラウンドゴルフ部」というサークルの活動が人気で、メンバーが増えています。

このサークルは近隣クラブとの交流大会も盛んで、毎回約200名の参加があります。冷える日の大会には女性メンバーが中心となって甘酒や芋煮、うどんなどを提供します。また、グラウンドゴルフの活動だけではなく、地区の文化祭で日本舞踊を演じたり親睦旅行を実施したりと、スポーツ以外の活動も行われています。これも、手間を面倒と厭わない、女性ならではの心配りや気遣いが最大限に生かされる場面といえるでしょう。

地域を変える力を持っているのは「よそもの・ばかもの・わかもの」だと聞いたことがありますが、クラブではこの中に「女性」が加わります。Iさんは「一ノ谷スポーツクラブでは、女性ならではの“心配り・あつかましさ・しなやかな感性”があらゆる場面で輝いています。クラブの一員である自分も輝いてこそ、クラブも地域も輝くと信じています」と笑顔で語ってくれました。



クラブプロフィール

設立年月日：平成9年4月

地 域：香川県観音寺市（一ノ谷地区）

運 営：会員数947名（平成24年7月現在） 予算規模 約170万円

特 徴：地区コミュニティセンター内に事務局があるため、地域の他団体との連携が積極的に図れる。
自治会費の中にクラブ会費が含まれている

連 絡 先：〒768-0023 香川県観音寺市古川町85-1

TEL・FAX：0875-25-0009

E-mail：ichinotani-comyu@mc2.mcbnet.ne.jp

半九レインボースポーツクラブの取組み

「半九レインボースポーツクラブ(以下、クラブ)」(宮城県宮崎市)では、宮城県で起きた数多くの災害(口蹄疫・鳥インフルエンザ・新燃岳噴火・台風災害など)から得た教訓を活かし、東日本大震災の被災地で不自由な生活を強いられている方々に笑顔になってもらおうと、支援活動を継続的に行っています。

1 平成24年度における主な活動内容

(1) 被災地での支援活動

第1回(平成24年4月21～22日)

対象：宮城県石巻市/塩釜市/七ヶ浜市のクラブ・福島県三春町の仮設住宅

内容：応援メッセージや日向夏みかんを届け、仮設住宅に鯉のぼりを上げました。

第2回(平成24年6月30～7月1日)

対象：宮城県石巻市のクラブ

内容：スポーツ教室(ウォーキング・サッカー)の協力、七夕イベント、そうめん流しを実施。

第3回(平成24年9月15～16日)

対象：福島県郡山市(会津)のクラブ・福島県三春町の仮設住宅

内容：スポーツ教室(サッカー・フライングディスク)の提供、木工教室、バーベキューイベントを実施。

第4回(平成24年12月15～16日)

対象：福島県三春町の仮設住宅・福島県二本松のクラブ

内容：スポーツ教室(バスケットボール)、バルーンアート、クリスマスレクリエーションイベント、食事会を実施。

第5回(平成25年3月10～11日)

対象：福島県三春町の仮設住宅・宮城県石巻市のクラブ

内容：スポーツ教室(フライングディスク・ウォーキング)、バーベキューイベントを実施。

※開催に携わった運営スタッフ数：延べ20名

(2) 被災地の子どもを宮城県に招いた交流会

名称：子ども交流会 in 宮崎

期日：平成25年3月26日～28日(2泊3日)

場所：宮城県内各地

内容：福島の子どもたちと宮崎の子どもたちとの交流会

日程：1日目 サッカー交流会(県総合運動公園広場)

交流学習会(テーマ：「福島と宮崎について」「災害について」)

宿泊(青島青少年自然の家)

2日目 スポーツなどの体験会(シーカヤック、イチゴ狩りなど)

キャンプ宿泊(蜂之巣公園コテージ)

3日目 サッカー交流会(木の花ドーム) フリータイム(県内レジャー施設)

※開催に携わった運営スタッフ数：30名

宮城県と福島県の総合型クラブ同士で交流を深めようと呼びかけ実施しました。福島県と宮城県の子どもたちがスポーツ交流などを通じてみんなで元気になり、お互いに一生の思い出をつくることができました。

(3) 講演会の開催

第1回：平成24年5月27日、宮崎市民文化ホール 参加者：約100名

テーマ：「大震災から1年 いま必要なことは(東北からのメッセージ)」

第2回：平成25年3月7日、宮崎市民プラザ 参加者：約100名

テーマ：「みんなの力で復興を!(福島県の現状)」

第3回：平成25年3月8日、高城町総合運動公園体育館 参加者：約80名

テーマ：「みんなの力で復興を!(福島県の現状)」(宮崎県総合型クラブ連絡会議において)

※開催に携わった運営スタッフ数：延べ20名

支援活動を通じて知り合った宮城県・福島県のクラブからクラブ関係者を招き、被災地の現状を伝える講演会を行いました。県内クラブ関係者と市町村行政担当者に対して現地の生の声を届けました。講演会参加者にとっては、震災復興の現実を知る機会となりました。

上記(1)～(3)のようなクラブの活動は、宮崎県が実施する「みやざき感謝プロジェクト」として認められ、平成24年6月から助成金の支援もいただき、またマスコミでも紹介されました。



2 支援活動のポイント

○被災地の状況に合わせた支援活動を!

震災後間もない頃は物資の支援が中心でしたが、被災地の状況に合わせて、少しずつ活動内容を変えています。現在では、定期的に避難所や仮設住宅を訪れ、軽スポーツやレクリエーションなどのイベント開催を行っています。これは、子どもや高齢者の方が、避難所や仮設住宅の生活で塞ぎ込みがちになっているという状況があったからです。

そのため、被災地での支援活動では、避難所や仮設住宅の外に出ようとしなかった方々が出てみようと思うきっかけづくりになるように活動を行っています。例えば、夏のイベントとして七夕にちなんで大きな笹竹を準備しみんなの願いを短冊にする、宮崎からの応援メッセージや日向夏みかんなどを届ける、軽スポーツのイベントやそうめん流し・バーベキューなどの行事を開催するなどしています。

○支援活動で気を付けること

- ・スポーツ教室やイベントの企画にあたっては、支援受入れ側と十分に協議を行い、支援する側の押しつけにならないようにすること。
- ・被災地における最新情報や状況に合わせて、必要と思われる人や場所に必要と思われる支援を、タイムリーに行うこと。

○被災地の方に特に好評だったこと

- ・軽スポーツ、レクリエーション活動の提供。
- ・名産品(宮崎県の場合、地鶏・ポンカン・日向夏みかん)の提供。



3 継続した交流・支援の思いを胸に!!

今後、クラブでは「応援の輪がどんどん広がっていくこと」「支援の渦がだんだん大きくなっていくこと」を願い、そのきっかけとなるよう、これまでの活動実績を活かして、小回りのきくクラブだからこそできる草の根運動的な活動を展開しようと考えています。

平成25年6月末には、福島県で被災地支援活動への思いを同じくする関係者が集まり、共同で七夕・夕涼み会(出店や軽スポーツ・レクリエーション活動)を計画しています。また、新しい試みとして被災地の方々に自分たちから足を運んでもらうことを考えているそうです。

仮設住宅などで塞ぎ込みがちな子ども、高齢者にできるだけ沢山参加してもらって、少しでも笑顔(元気)になってもらうこと、更には居住者のコミュニティづくり、復興の地域づくり、まちの活性化への一助となることを目指して、今後も活動を継続していきたいとクラブでは考えています。

(宮崎県クラブアドバイザー 宮田育俊)

※半九レインボースポーツクラブは、震災2日後から支援物資を車に積み込み仙台市に届けるなどの支援活動を行っています。

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/local/sc/pdf/hisaiti_ouen_10.pdf

クラブプロフィール (平成25年6月現在)

設立年月日：平成22年1月30日

地域：宮崎市清武町 人口約29,000人

運営：会員数 179名(平成25年6月1日現在) 年間予算規模：約1,300万円(平成25年度)

特徴：宮崎の恵まれた気候と自然を大いに活かし、健常者から障がい者、子どもから高齢者まで一緒に参加して楽しめるプログラムを実施している

連絡先：〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納甲1500-6

TEL：0985-34-9069 FAX：0985-34-9079

E-mail：rainbow_3080@yahoo.co.jp

クラブHP：http://www.geocites.jp/rainbow_3080/

[INDEXへ▲](#)

幼児・小学生体育教室 (元気・夢クラブ)

プログラム概要

- 実施頻度：4シーズン制、1シーズン10回(月曜日19:00~20:15)
- 場 所：美里町立中央小学校体育館
- 参加者層：4歳~9歳
- 定 員：60名
- 参 加 料：1人当たり3,000円/1シーズン
- 実施種目：春期・・・「各種走運動」「ボールを使った運動」「平均台遊び」「力試し運動」
夏期・・・「ラジオ体操」「バンブーダンス*」「マット遊び」「跳び箱遊び」
※長い竹を使ったダンスプログラム
秋期・・・「走運動」「ラダーを使った動き」「リレー」「長縄跳び」
冬期・・・「リズムダンス」「おにごっこ」「短縄跳び」「長縄跳び」
- 経 費：サポーター(指導者)旅費1回300円(謝金はなし)、会場使用料1回840円
- 運 営：サポーター(指導者)19名 教室1回あたり10~12名程度で運営



1 プログラム導入の背景

「元気・夢クラブ」(以下、クラブ)では、以下の背景からプログラムを開設しました。

- クラブのある熊本県美里町では、近年、子どもたちの外遊びが減少し、体力も低下傾向にあった。
- 熊本県は学校運動部活動に入ることができるのが小学4年生からであり、幼児期から小学3年生までは子どもは運動する機会が少ない。
- 運動能力(特に神経系)は、幼児期から8歳頃までに身に付けさせると効果的である。

これらの理由から、クラブ会長である長松雅昭さんが考え出したのが、「幼児・小学生体育教室」です。

このプログラムは、長松会長が叩く太鼓のリズムに合わせてスタートします。子どもたちは次から次へといろいろな種類の運動遊びを行っていきます。休憩は場の設定を変える時だけで、終了する頃には、子どもたちはみんな汗びっしょりの姿で帰ります。

2 人気のポイント

このプログラムのポイントは大きく3つあげられます。

- 多様な動きとゲーム性のあるプログラム

このプログラムでは、跳ぶ、蹴る、体を曲げる・伸ばす、前後左右に移動するなど、次々に動きを変えます。また、じゃんけんをする、回数を競わせるなど、ゲーム要素を加えることで楽しみ方の幅を広げ、子どもたちがどの種目にも飽きずに取り組めるようにしています。

参加するほど多様な動きが身につくため、子どもたちが継続して参加してくれます。子どもからは「かけっこが速

くなった」「体が柔らかくなった」などの声を聞きます。

○集団行動に必要なルールの徹底

時間を守る、靴の出し入れをきちんとする、挨拶する、返事するなどのルールを守ることを事故防止の観点からも徹底しています。こうした「ルールを守ること」を徹底することが保護者から好評です。

○子どものやる気向上に向けた仕掛け

皆勤賞制度を設け、各シーズンや年間(4シーズン)を通して休まず参加した子どもを表彰しています。これが子どものモチベーション向上につながっています。

3 運営面で気をつけていること

子どもが対象のプログラムであるだけに、ケガ・事故などがないよう多くの大人の目が届くように気を配っています。

クラブでは地域の中からプログラム運営を手伝っていただけるサポーター制度を取っており、小学校教諭だった長松会長が教諭時代の教え子や会員の保護者、家族などに依頼し、現在19名のサポーターで運営されています。(取材時には14名のサポーターがおり、サポーターには1人につき300円の旅費を支払っています)サポーターになっている方は保育士、教師、消防士、役場職員、主婦、学生と様々ですが、共通点は子どもが大好きであるということです。

4 今後について

長松会長は、「活動場所を増やすなど、さらに多くの子どもたちに運動の楽しさを味わってもらい、たくましく生きるための体力を身につけてもらいたい」と考えています。その熱意ある姿にクラブの将来を、また次世代を担う子どもたちの元気づくりに力を注ぐ思いを感じました。

クラブプロフィール

設	立：平成17年5月29日 経緯 体育指導委員(現スポーツ推進委員)を母体として設立
地	域：人口 12,907人 特性 高齢化率が人口の約40%。元気のいい高齢者が多い町
運	営：会員数130人(平成25年度)会員数の約50%が小学生以下 予算規模 約330万円(平成25年度)
特	徴：クラブ主催のウォーキングイベント(さくら健康フェスタ in 美里)では、地域住民からも自発的に協力を得て参加者をおもてなしし、町の活性化に貢献している
連	絡 先：〒861-4405 熊本県下益城郡美里町萱野745下 美里町総合体育館内 TEL：0964-46-4141 FAX：0964-46-4141 E-mail： i-migita@fsinet.or.jp

助成金情報

申込締切：7月31日まで

▶ 第10回日本パートナーシップ大賞 [7月31日(水)18:00 必着]

http://www.psc.or.jp/02_13.html

[INDEXへ▲](#)

お知らせ

●総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」募集中!!

総合型地域スポーツクラブ全国協議会 (SC全国ネットワーク) が平成25年(2013年)度に設立5周年を迎えることから、その記念事業として、総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストを実施しています。

皆さまからのたくさんのご応募お待ちしております!!

応募資格：SC全国ネットワーク加入クラブ(含、設立準備中団体)

応募期間：平成25年5月1日(水)～8月30日(金) ※締切日当日までの応募有効

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/tabid/84/Default.aspx?itemid=2634>

●第10回全国スポーツクラブ会議の開催を公募します!

SC全国ネットワーク、クラブリンクJAPAN、クラブネットの3団体が共催し、開催している全国スポーツクラブ会議について、この度、第10回大会の開催公募を行うこととなりました。

開催を希望されるクラブにおかれては、下記URLから要項等をご確認の上、申請くださるようお願いします。

なお、開催年月は平成28年5月第3週、申請締切は平成26年3月31日となります。

▶ 詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/tabid/84/Default.aspx?itemid=2652>

●労力半分、効果は2倍! 「クラブのらくらく広報」をご活用ください!

会員募集やクラブの周知が思うように進まない・・・

広報活動をする人手が足りず、技術もなく困っている・・・

そんなクラブの方のために効果的な広報を行うためのガイドを作成しました。

本会HP上からダウンロードできますのでご利用ください。

▶ 「クラブのらくらく広報」

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05>

●笹川スポーツ財団シンポジウム「日本のスポーツガバナンスを考える」を開催します!

笹川スポーツ財団では、この度、下村博文文部科学大臣を基調講演にお迎えし、「スポーツガバナンス」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。開催趣旨および概要は以下のとおりです。

多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

日時：平成25年6月28日(金)18:00～21:00

場所：日本財団ビル会議室(東京都港区)

定員：先着200名(入場無料)

▶ 詳しくはこちらから

http://www.ssf.or.jp/seminar/seminar_130628.html

●「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」について

去る平成25年4月25日、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟は「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」を開催し、「暴力行為根絶宣言」を採択しました。

▶ 宣言文はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2636>

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう

「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご協力をお願いします！

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを実施中で、専用WEBサイトも公開しています。

本キャンペーンは、「フェアプレイで日本を元気に」を合言葉に「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」という具体的な行動を通じて、日本社会を元気にしていく取組みで平成23年にスタートしました。「フェアプレイ宣言者」は、現在約15,000人になりました！

まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用WEBサイト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロードができ、各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。ぜひご活用ください。

日本体育協会は、これからも「フェアプレイ」を広げるためにキャンペーン活動を続けてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

▶ フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致にご協力をお願いします！

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会は、去る6月16日に、スイス・ローザンヌで開催されたANOC(国内オリンピック委員会連合)総会において、プレゼンテーションを実施しました。

プレゼンターとしてオリンピックを代表して女子体操の田中理恵さんによる熱意あるプレゼンテーションが行われました。

開催都市が決定する9月7日まで、いよいよあと80日を切りました！

2020年オリンピック・パラリンピック招致実現に向けて、皆さまのますますの応援をどうぞよろしくお願い致します。

(twitter、facebook等もご活用ください)

▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会HPはこちらから

(貴クラブのHPにリンクいただくなど、ご協力をお願いします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

※この度「TOKYO2020 未来への提言」のコーナーにおいて、本会会長(張富士夫)のコメントが掲載されました。

<http://tokyo2020.jp/jp/news/index.php?mode=page&id=809>

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください!

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。
おかげさまで、現在約4,600の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。
個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方におススメください。
よろしく申し上げます。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会 HP のトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック
- 4) 「登録する」をクリック
- 5) 登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6) 登録確認画面へ(完了)

- ▶ メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。周りの方にもぜひ登録をおススメください!

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>

- ▶ メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

[INDEXへ▲](#)